

浜岡原子力発電所 2号機 換気空調系屋外ダクトからの
放射性物質を含まない空気の微少な漏えいについて(続報)

2010年10月6日

◆今回お知らせする内容

<p>対応結果</p>	<p>当社は、10月5日にダクトつなぎ目からの微少な空気の漏えいを止めるために、隙間にシール材を塗布し、漏えいがないことを確認しました。</p> <p>現在、1～5号機の換気空調系※屋外ダクトの点検を継続して行っており、漏えいの有無に関わらず、他のダクトつなぎ目もシール材を塗布していきます。</p>
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆これまでにお知らせした内容

(2010年10月4日公表)

<p>発生場所</p>	<p>2号機 (廃止措置中(第1段階)) 原子炉建屋屋上(放射線管理区域外)</p>
<p>発生年月日</p>	<p>2010年10月4日</p>
<p>発生時の状況</p>	<p>本日、2号機の換気空調系屋外ダクト(放射線管理区域外)の点検作業を実施していたところ、午前10時30分頃、ダクトのつなぎ目から、微少な空気の漏えいがあることを当社社員が確認しました。</p> <p>建屋内の換気放射線モニタや排気筒モニタに異状な指示変動はありませんでした。</p> <p>漏えいのあったダクトは、各建屋内の空気をフィルタを通した後、排気筒へ導くためのものであり、念のため漏えい箇所付近の放射能測定を行い、放射性物質の漏えいがないことを確認しました。</p>
<p>対応</p>	<p>今後、漏えいしたダクトつなぎ目の修理を速やかに実施します。</p> <p>また、点検が完了するまでの間、放射線管理区域内で、換気放射線モニタが上昇する可能性のある作業は行いません。</p>
<p>放射能の影響</p>	<p>本事象による外部への放射能の影響はありません。また、当社社員および協力会社社員に計画外の放射線を受けた者はいませんでした。</p>
<p><u>お知らせ基準</u></p>	<p>運転情報「表 2-20 その他の事象であって、公表が望ましいと判断したもの。」に該当します。</p>

※ 換気空調系とは、原子炉建屋内やタービン建屋内(放射線管理区域内)の空気を清浄に保つためのシステムです。給気系と排気系があり、排気系には排気フィルタを設置し、建屋からの排気に含まれるダストを除去した後、排気筒より排気を行っています。

以上